

## 三浦半島を横断する 三浦アルプス

実施日	2014年2月23日(日)		
天候	曇時々晴		
リーダー	一柳 昭		
S L	伊藤 久雄		
参加者	齋恵美子、佐藤金治、一柳昭、涌井良明、石附智江、伊藤久雄、石原勝正、松丸恵美子、瀧澤きよの、井出美緒、浜田優美子 計11名		
費用	品川駅⇒逗子駅	690円	
	逗子駅⇒風早橋BS	190円	
	田浦駅⇒品川駅	780円	
	合計	1,660円	
タイム	逗子駅(9:00~9:12)	風早橋BS(9:25~9:30)	仙元山(9:42~9:50)
		千手観音(10:52~10:56)	ドングリ並木(昼食11:05~11:34)
		栗坪分岐(12:45)	34号鉄塔(13:10~13:20)
		乳頭山(13:45~13:55)	田浦梅林(14:30~15:00)
		田浦駅(15:33~15:38)	

冬場は暖かい三浦半島にハイキングに来る人は多いが今日のJR逗子駅前には例年以上にハイキング姿で一杯でした。おそらく2週連続の雪で他の山は積雪で山を歩くのが困難なので三浦半島に集まって来たようだ。

逗子駅からバスに座れたが後からどんどん人が乗ってくる。次の新逗子駅前バス停からも次々と乗ってきて満員状態になる。5ツ目の風早橋バス停で降り少し先の石段から登り始め山道に入った途端目の前を大きなタイワンリスが横切った。5分程登ると右手からの通常のコースに合流する。さらに5分程登ると富士



信仰の山でもある仙元山に着く。ここからは相模湾が一望でき江ノ島、丹沢などはよく見えたが曇りのため富士山や伊豆半島は見えなかった。

この仙元山周辺の仙元山ハイキングコースはかなり前から整備されていたがこれから先の逗子市と葉山町の境界の尾根は大変複雑な地形のため迷い易いため殆ど歩かれなかったが1980年代後半か

ら幾つかの山の会のメンバーがヤブこぎをしながらルートを開拓しいつの頃から「三浦アルプス」と呼ばれるようになった所です。私が始めて歩いた17年前は標識などなくハイカーも極わずかでした。近年は雑誌、インターネットなどで知られるようになってきたため多くハイカーが歩くようになってきた。しよばらく行き階段を下ると登り返しの250段の階段を登る。



これから先は右に葉山方面、左に森戸林道に降りる枝道が沢山あり、そちらに巻き込まれないように注意しながら進むと千手観音がある観音塚に着く。さらに進みドングリの並木のある広くなった所で昼食をとった。



この後は数多くアップダウンが続く尾根道をさながら進むと畠山分岐に出る。畠山は鎌倉時代初期に板東武者の鑑といわれ多くの人々から尊敬を受けた畠山重忠の城があった所だが往復に1時間程かかるので今回はカットした。

畠山分岐から5分程登ると乳頭山に着きここからは横須賀、田浦、追浜、横浜が一望できる。

乳頭山から下ると中尾根との分岐点を右に曲がり田浦梅林を目指すが急降下の滑りやすい道なのでロープなどを掴みながら慎重に下る。

この先で三浦アルプスが終わったが最高標高は200m足らずだがアップダウンは20、累積標高差は約520mあり低山の尾根歩きながら



歩き甲斐があるコースであった。最後に寄った田浦梅林は三浦半島最大の梅林で、現在の天皇陛下の御誕生を記念して地元の有志が700本を植えたのが始まりで現在は白加賀の白梅、養老の紅梅など2700本の梅が咲いている。

ここで30分間ほどゆっくりしてから田浦駅に向かった。



(記・一柳 昭)

(写真提供・涌井良明)